



あ
い
の

Vol.15

2013. 4月発行

【福寿草 花言葉 永久の幸福】

Contents

これからの認知症診療と専門病院の役割
あいの認知症プロジェクトについて
あいのまちの保健室
外来・病棟からのお知らせ
肝臓病外来
外来診療担当医表
あいの会 お花見
講座・セミナー

これからの認知症診療と専門病院の役割



院長 杉野正一

これからの認知症診療・ケアの目指すキーワードは『住み慣れた地域で暮らす』です。

2012年現在、厚生労働省は日本における認知症者が305万人に達すると報告を上向き修正しました。

65歳以上の高齢者10%が認知症であり、2025年には高齢者人口が30%を占めると推測される日本においては、数少ない専門医や専門病院だけによる対応はもはや困難であり、『かかりつけ医』を中心に行政や介護・福祉がしっかりとスクラムを組んだ『認知症の地域連携』による治療・ケア体制が不可欠な状況にあります。

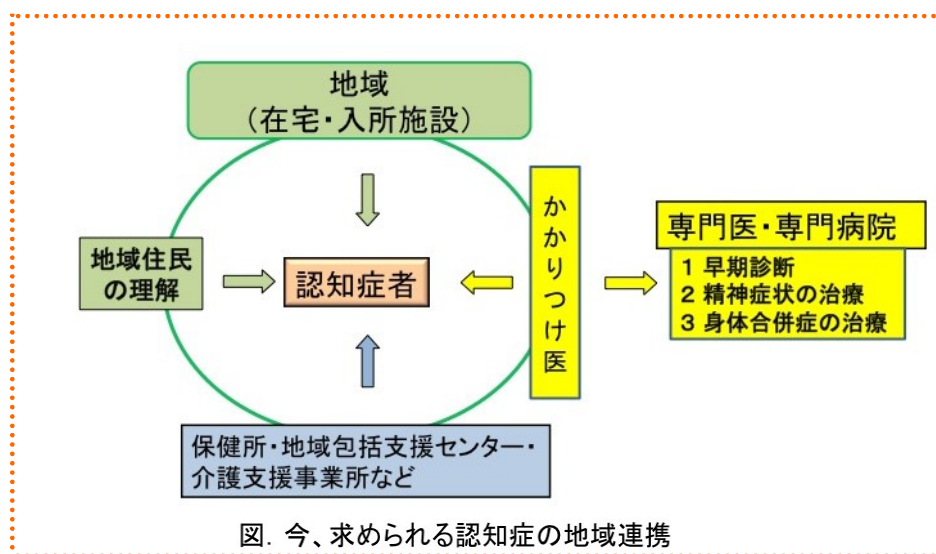


図. 今、求められる認知症の地域連携

一方で、この10年間に認知症患者さまに対するケアについても大きな意識改革が起こっています。中高年にとって認知症は決して他人事ではなく、いつ自分や家族に発症してもおかしくない“common disease”です。

もし発症してしまった場合に『どのようなケアを受けられるか』は切実な問題です。

実際に認知症を発症された患者さまやそのご家族からの声を汲み取っていく姿勢から、現在では『パーソンセンタードケア（本人中心のケア）』すなわち『してあげるケア』から『その人らしい生活を支えるケア』への転換が求められるようになってきました。

そのためにも、可能な限り最後まで慣れ親しんだ地域や在宅、施設で暮らせる体制が必要となります。

このような今後の地域連携の中で、専門病院の果たす役割としては、

- ① 認知症の早期診断や鑑別診断、
 - ② 介護者を悩ます精神症状や異常行動（BPSD）の治療、
 - ③ 認知症者に合併した身体疾患の入院治療
- の3つが求められています。

当院はこの3つの役割の全てを果たしうる数少ない専門病院として、これまでも様々な活動を通じて地域への貢献を心がけてきました。

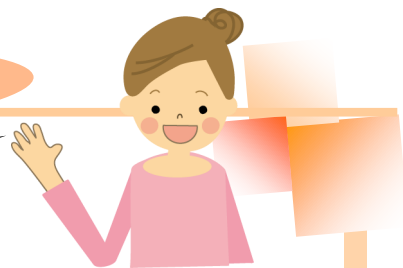
今年からは、さらなる認知症の治療・ケアの向上や地域との連携や啓発活動も含めた『あいの認知症プロジェクト』を発足させました。このプロジェクトの特色は、日常から認知症に関わっている医師、看護師をはじめ、多職種にわたる職員たちが自発的に立ち上げたプロジェクトであり、その活動を病院が全面的にサポートする体制を取った点です。

今後、この誌面にてその取り組みを順次紹介させて頂く所存です。

皆様のご理解・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

あいの認知症プロジェクトについて

あいの認知症プロジェクト
委員に聞きました！



当院には、認知症の鑑別診断や加療を行う「もの忘れ外来」や認知症の患者さまの入院治療を行う病棟（501床）があり、認知症患者さまの治療やケアに力を入れています。その一つの取り組みとして「認知症ケア専門士」の育成を積極的に取り組んでいます。現在、当院には23名の認知症ケア専門士が在籍しております。

～「認知症ケア専門士」の資格とその活動～

認知症ケアに対する優れた学識と高度の技能、および倫理観を備えた専門技術士を養成し、認知症ケア技術の向上ならびに保健・福祉に貢献することを目的として設けられた資格です。

院内のすべての職員、地域の医療関係者や福祉関係者が、認知症患者さまやそのご家族に対して、より良い認知症治療やケアを実現する為に「あいの認知症プロジェクト」というチームを発足させ、様々な活動を行っています。チームには、医師・看護師・臨床心理士・精神保健福祉士・作業療法士・事務職員など様々な職種のスタッフが参加し、毎月検討会を行っています。

～「あいの認知症プロジェクト」の取り組みについて～

認知症予防からターミナルケアまで、幅広く認知症ケアを捉え、また家族支援や地域啓発も視野に入れて、活動方法や内容によって4つのカテゴリ、6つのワーキンググループを構成しています。6つのワーキンググループの取り組みをそれぞれ紹介させていただきます。



～6つのワーキンググループ～

- ①**非薬物療法**・・・ 患者さま自身の思いを尊重し、残存能力を最大限に生かせるようにダイバージョナルセラピーや園芸療法、タクティールケア等を行っています。
- ②**環境支援**・・・ 患者さまの安全を第一に院内の環境整備を実施しています。
- ③**家族教室**・・・ 認知症疾患を持つ方を幅広く理解し、在宅での暮らしをサポートするため、今年度より患者さまのご家族を対象にした教室を開催する予定となっています。認知症についての理解を深めていただき、ご家族の悩みを共有し合える会にしたいと思っています。
- ④**チーム医療**・・・ 各職種の情報の共有化と入院治療期間の短縮化を目的に退院支援クリニカルパスを作成しています。早期に住みなれた地域で過ごして頂けるように、退院支援を行っております。
- ⑤**スタッフ教育**・・・ 認知症ケア専門士の育成と認知症サポーター養成を行っています。また、認知症キャラバン・メイトも6名在籍しています。
- ⑥**地域連携**・・・ 地域の医療・福祉スタッフを対象に連携の強化や意見交換、ケアの共有や知識の向上を目的に「地域ケアスタッフのための認知症講座」や地域住民の方を対象とした市民公開講座を開催しています。

～あいのまちの保健室～

「あいのまちの保健室」は、おかげさまで今年で10回目になります。毎年大勢の方にお越しいただいております。大変嬉しく思っております。「あいのまちの保健室」では、毎年テーマを決めており、去年は「認知症」をテーマとしましたが、

今年は **「健康的なエイジングに向けて」** をテーマに取り組みます。

当日は各専門職が身体測定をさせて頂いた結果をもとに、相談コーナーにてお役立ち情報などをお伝えできればと考えております。当院の職員が総出で企画・運営を行っています。

保健師による身体計測・健康相談から始まり、それぞれ専門職による相談コーナーや体操、足浴などにもご参加いただけます。

また、認知症サポーター養成講座を行い、参加して頂いた方は認知症サポーターになっていただくことができます。講座終了後、皆様に認知症サポーターの証であるオレンジリングをお渡しさせていただきます。皆様の参加をお待ちしております。

★日時 平成25年5月18日（土） 午前10時から午後4時まで
平成25年5月19日（日） 午前10時から午後3時まで

★参加費 無料（どなたでもご参加いただけます）

★内容 身体測定、健康相談、足指力測定、食事相談、お薬相談（お薬手帳をご持参下さい）、お口の悩み・口腔ケア相談、健脚チェック、いきいき体操、ストレスチェックと相談、レントゲン検査各種紹介、認知症ケア相談、生活相談（介護保険など）

★5月18日（土）認知症サポーター養成講座を開催

①10時半～ ②13時半～ の2回講演で1時間程度の講座です。
どなたでも、参加いただけます。

この2日間に限り、特別に当院の栄養士が考えたカルシウムたっぷりのメニューをご用意します。
（本館地下食堂にて 11：00～ 500円）



外来・病棟からのお知らせ

院外処方箋FAX送信サービスの開始について

当院では、平成25年4月1日（月）より、調剤薬局への院外処方箋FAX送信サービスを開始いたしました。このサービスは無料をご利用いただけます。

調剤薬局を患者さまご自身でお選びいただき、処方箋をFAXで送信することができます。これにより 調剤薬局での待ち時間短縮が見込めますので、是非ともご利用ください。

尚、処方箋は指定された調剤薬局で処方日を含めた4日以内にお薬と引き換えになります。必ず調剤薬局へ処方箋をご持参ください。尚、ご質問がございましたら、お気軽に総合受付へお尋ねください。



場 所：正面玄関 総合受付前

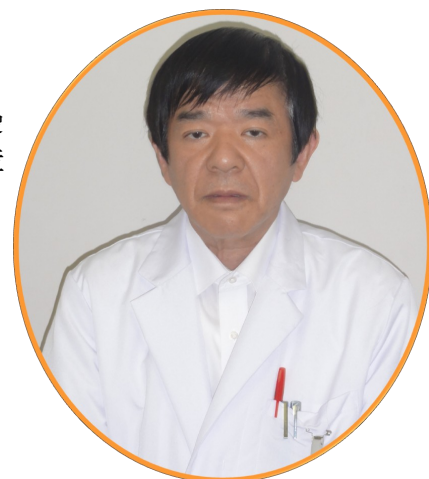
ご面会・お見舞いの方へ

面会時間は、平日・休日ともに午後1時から午後8時となっております。
（病状または治療上の都合により、面会をお待ちいただいたり、お断りする場合がございます。）

患者さまの治療・療養・安静を考慮し、午前中の面会は、診療の妨げとなりますので、ご遠慮下さい。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

肝 臓 病 外 来

当外来では、肝疾患全般（①急性肝炎・②ウイルス性慢性肝炎（B型・C型）・③肝硬変・④肝癌・⑤自己免疫性肝障害・⑥脂肪性肝障害・⑦薬物性肝障害etc.）に加え、胆嚢・胆道疾患（胆石・胆嚢炎etc.）、さらには、肝硬変に合併する食道・胃静脈瘤に対しても、外来・入院・検査・治療と一貫してきめ細かい診療を行っております。



内科医長 河島久人
【日本肝臓学会専門医】

最も患者数の多いウイルス性慢性肝疾患は、慢性肝炎から、肝硬変、肝硬変の合併症（食道・胃静脈瘤、肝癌、肝不全）へと進行していきます。当外来では、ウイルス性慢性肝炎の治癒を目標に、B型慢性肝炎に対しては、核酸アナログ製剤・インターフェロン療法を、C型慢性肝炎に対しては、インターフェロン療法（プロテアーゼ阻害剤を含む3剤併用療法）を積極的に導入しております。重い慢性肝炎・肝硬変へ進行している場合は、早期に合併症を診断すべく、エコー・CT・MRI・内視鏡等による綿密な経過観察を行っております。



破裂リスクの高い食道・胃静脈瘤に対しては、内視鏡的治療（結紮術・硬化療法）・IVR治療（B-RTO）を行っております。肝癌に対しては、大阪医科大学附属病院消化器内科肝臓グループとも連携の上、ラジオ波焼灼療法・エタノール注入療法・IVR治療（肝動脈塞栓術）・外科的治療（肝切除術）等を選択し治療にあたっています。高性能超音波機器を利用した造影超音波検査も導入し、より正確な診断・治療効果判定が出来るようになりました。

近年は、脂肪肝が激増しています。健康診断の結果「脂肪肝あり」と診断される人は、受診者の約3割にのぼると言われています。ところが、そう診断されても深刻に考える人はあまりいません。特に、飲酒習慣のない人にとっては「ちょっと太り気味ですね」という言葉とほぼ同義に受け止められているからです。

ところが、最近の研究で、「飲酒習慣のない人の脂肪肝（非アルコール性脂肪肝）」には、生活習慣病として放置出来ない危険性をもつ一群のあることがわかってきました。これが「NASH（非アルコール性脂肪性肝炎）」という病態で、肝炎から肝硬変、肝癌へと進行する可能性があるのです。日本では、100万人近くが既にNASHになっていると言われており、飽食の時代の肝臓病として懸念されています。

肝臓は、「沈黙の臓器」と言われています。肝障害を指摘された方は、自覚症状がなくても、お気軽に当外来にご相談下さい。



外来診療担当医表

平成25年4月12日現在

診療科・曜日			月	火	水	木	金	土
内科	午前	1診	初診・再診 河島	初診・再診 佐伯	内分泌 堤	初診・再診 山本		初診・再診 磯田
		2診	初診・再診 林	初診・再診 金万	初診・再診 金	初診・再診 大島	循環器 佐伯	
		3診	糖尿病 吉田	糖尿病 吉田		糖尿病 吉田	初診・再診 永井	
	午後	1診		リウマチ・膠原病 永井			消化器 14:00~16:00 中澤	もの忘れ 第1.3.5 杉野
		2診	禁煙外来 13:00~15:00 金	内分泌 山本	肝臓病 河島	循環器 金	肝臓病 14:00~16:00 朝井	初診・再診 磯田
		3診		糖尿病 吉田	大澤	糖尿病 吉田	呼吸器 14:00~16:00 福田	
神経内科	午前	1診					杉野	澤田秀・宇高
		3診			木村			
	午後	1診	篠田		澤田			
もの忘れ外来	午前	1診	澤田	杉野	木村	山下	信秋	
		2診			園田	安藤 10:00~12:00		
	午後	1診		園田	篠田	安藤 13:00~15:00	篠田	
外科	午前		竹田	濱畑	日外	瓜生和	濱畑	竹田
脳外科	午前						辻	
皮膚科	午前			窪田	牧之段	窪田	窪田	上田
整形外科	午前	1診	横田	本田	濱田	大森	横田	骨粗鬆症 楊
		2診	安井				古家	本田
形成外科	午前		武田					
	午後						奥野 14:00~16:00	
泌尿器科	午前		増田	増田	増田	増田	増田	
眼科	午前		若林	石崎	若林	小山		小山
耳鼻咽喉科	午前		合田	野村	野村	野村	合田	
	午後				辻 13:00~16:00		乾 13:00~16:00	
婦人科	午後		西山 13:30~15:00		西山 13:30~15:00		西山 13:30~15:00	
					後山(第4) 13:30~15:00			
精神・神経科 (リエゾン)	午前		神足	石井			茶谷	
小児発達外来	午後		若宮			若宮		
歯科	午前		藤田	島原 瓜生直	伊藤	伊藤 瓜生直	有吉 瓜生直	島原
	午後		瓜生直	瓜生直	瓜生直	瓜生直	瓜生直	
温熱・免疫	午前					石川 9:30~11:30		
	午後		木村 13:30~15:30				坂井 14:00~15:00	

受付時間 午前 7:30~11:00
午後 1:00~

診療時間 午前 9:00~
午後 1:00~

※診療科により異なります

は予約制です



あいの会 お花見

毎年4月の第2月曜日は、糖尿病患者さんの会のお花見です。

例年であれば、満開のころですが、今年はひらひら舞っている花びらを楽しみながらのお食事会となりました。糖尿病療養指導士の管理栄養士さんが手作りしてくれた、春らしい約510kcalのお弁当はとても美味しく、食後血糖値も上がりにくいもので、みなさん満面の笑顔でした。

大澤先生（藍野加齢医学研究所所長）、葛谷先生（藍野加齢医学研究所糖尿病センター長）もおでましくくださり、和やかなひと時となりました。内科副部長 吉田 麻美



510kcalのお弁当



= 5月 講座・セミナー =

平成25年5月11日（土） 18：00～20：00

第2回 高齢者医療を考える会

会場：茨木セントラルホテル 1F

対象者：医療関係者

開会の辞：『健康寿命を伸ばすために』 杉野 正一 院長

特別講演：『健康長寿と生活習慣病』

座長：佐伯 彰夫 副院長

演者：大阪大学大学院 老年・腎臓内科学教授 楽木 広美 先生

後援：茨木市医師会

平成25年5月13日（月） 14：00～15：00

藍野糖尿病教室（毎月1回開催）

会場：藍野病院本館6階会議室

対象者：一般の方

講師：吉田 麻美 内科副部長

平成25年5月21日（火） 20：00～22：00

摂津市医師会学術講演会

会場：千里阪急ホテル

対象者：医療関係者

講演：『今さら、人に聞けない認知症診療』

演者：杉野 正一 院長

お問い合わせ

総合受付

TEL:072-627-7611（代）

FAX:072-627-3627

入院のご相談は

「地域医療連携室」まで

~~~~~ 編集後記 ~~~~~  
季刊誌「あいの」を最後までご覧いただき、ありがとうございます。  
今回は当院が行っている認知症診療・ケアについて特集させていただきます。また形成外科外来、骨粗鬆症外来、リウマチ・膠原病外来と続いた専門外来特集につきましては、肝臓病外来を特集させていただきました。今後も、皆さまの役立つ情報をお伝えしたいと考えておりますのでご意見・ご感想・ご要望などございましたら、お気軽にお問い合わせください。  
お待ちしております。  
編集委員一同